

「情報機器」を
活かす

+

「不要品」を
活かす

化学・機械業

PC 入替時に毎月 50 拠点の回収買取

事例

1

Windows7 から Windows10 の入替え 現地でリストと現物を照合して漏れなく回収



現地でメーカー・型番・シリアル・資産番号を確認し、
リストと照合して漏れなく 3 千拠点から回収

解決

先方の入替えプロジェクトチームが新品 Windows10PC への入替えを終了させた後に、入替えされた旧 PC のリストと現物に間違いがないか、当社が現地で確認。相違がある場合にはその場で報告し、買取・回収対象品として改めて管理シールを貼付け。

その後プロジェクトチームからの回収日程調整を待って、当社が管理シールを貼り付けた PC を現地に回収訪問。数と機種と管理番号を改めてその場でカウントし、仮受領書を発行してセキュリティロックで回収。

回収した Windows7PC がテクニカルセンター着荷後に検品して、最終となる照合作業から受領書を発行。この一連の作業により、機器の回収漏れと回収機の間違いをゼロに。

検品後はエンタープライズ向けデータ消去ソフト「Blancco」により完全にデータを消去し、企業管理シールも除去してサニタイズ（無毒化）。

この一連の作業を毎月 50 拠点以上で行っており、2 年間かけた Windows7 から Windows10 への入替プロジェクトに当社は参加している。

検討課題

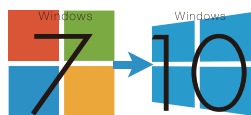
200 社以上をかかえるグループ企業。
全国に 3,000 の拠点が点在しており、
合計 7 万台以上も PC を保有。

Windows7 の EOS（エンドオブサポート）に伴う Windows10 への入替を、傘下の SIer グループ企業がプロジェクト化しており、入替後の Windows7 機器の処置もスムーズかつ適切に完了させる必要があった。

3 千拠点 7 万台の PC 入替え
プロジェクトが進行していた



2020/1/14



Windows 7
の EOS 入替え



現地でリストと
現物の照合



中身も外装も
情報を無毒化

POINT

1. 現地確認
2. 回収間違い対策
3. 万全なデータ消去
4. 毎月 50 拠点以上